

与田切取水口堰堤改修工事 募集要項等に関する質問(参加資格関連以外)に対する回答(第1回)

	資料名	該当箇所							項目名	質問事項	回答事項
		頁	章	節	細節	項	目	細目			
1	要求水準書	7		3	(1)	1)	カ)		責任放流量	責任放流量を0.01m ³ /s程度増加し放水できる設備に改修とは、取水口排砂門の扉体に設けられている責任放流施設のオリフィス径φ120mm(0.059m ³ /s)を改修し、責任放流量0.069m ³ /sを可能にするとの理解でよろしいでしょうか。	責任放流量については現在国土交通省と協議中ですが、決定した放流量を放水できる設備としてください。放水方法についての指定はありません。
2	要求水準書	7		3	(1)	2)	ア)	①	最大取水量0.9m ³ /sとする構造	構造変更には、最大取水量0.9m ³ /sに合わせた取水口の規模やスクリーンバーのピッチ等を設定する必要があります。このため、設計当初、既設取水口において最大取水量2.4m ³ /sを設定した時の取水施設緒元(応募要項の施設設計図面集に規定あり)や設計計算書は開示いただけますでしょうか。	守秘義務対象開示資料に追加します。
3	要求水準書	9		3	(2)				その他 維持管理用進入路	当社にて現地調査の結果、現仮設進入路の勾配は37%(約20°)程度です。大型バックホー(0.25m ³ 以上)の登坂応力は35°～40°であり、現状の勾配でも十分作業可能と判断します。また、 ①現在の仮設進入路に客土し、緩勾配にする。 ②現在の進入路を廃棄し、さらに上流側から進入路を整備する。 という河川内における対策は、オンボロ沢等からの出水を考えれば現実的ではないと考えます。 現時点では、現在の位置、37%(約20°)前後の登坂勾配で、仮設進入路の改善提案を考えております。いかにお考えでしょうか。	現仮設進入路は出水の度に流出してしまうため、維持管理に費用のかからない進入路の提案を求めています。ただし、現仮設進入路の改善提案を妨げるものではありません。